

番 号		令和6年度（消防）第33号		仕 様 書							
件 名		消防吏員用立体型ストレッチ活動服購入									
場 所		名張市 鴻之台1番町 地内									
設 計 額		消防吏員用立体型ストレッチ活動服 一式				円		内税抜価格			
調 査 日		令和6年7月18日									
設 計 日		令和6年7月29日									
履行期限		令和7年3月31日まで				積 算		検 算		確 認	
概 要				施 行 理 由							
【複数単価契約】 消防吏員が着用する立体型ストレッチ活動服を購入する。 【予定数量】 ア 消防吏員用立体型ストレッチ活動服上衣(厚手) 18着 イ 消防吏員用立体型ストレッチ活動ズボン(厚手) 30本 ウ 消防吏員用立体型ストレッチ活動服上衣(薄手) 9着 エ 消防吏員用立体型ストレッチ活動ズボン(薄手) 18本											

設 計 用 紙

名 張 市

消防吏員用立体型ストレッチ活動服購入

内 訳 表

符号	名 称	単位	予 定 数 量	単 価(円)	金 額(円)	備 考
ア	消防吏員用立体型ストレッチ活動服上衣(厚手)	着	18			
イ	消防吏員用立体型ストレッチ活動ズボン(厚手)	本	30			
ウ	消防吏員用立体型ストレッチ活動服上衣(薄手)	着	9			
エ	消防吏員用立体型ストレッチ活動ズボン(薄手)	本	18			
	小 計					
	消費税及び地方消費税					
	合 計					

消防吏員用立体型ストレッチ活動服
仕様書【複数単価契約】

名張市

仕様書

1. 概要

この仕様は、名張市における消防吏員用立体型ストレッチ活動服について定めるものである。

2. 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初の契約額とし、追加請求は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき所属ごとにまとめて納品すること。
- (5) 証明書の提出については、受注者は契約時に使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷引受証明書を提出すること。
- (6) 受注者は早急に試作品を提出し、発注者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を受注者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義が生じたときは、発注者の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸については、サイズ表による試着ゲージを用意し、発注者の別途指示する日程に受注者による採寸を実施すること。（ズボン股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）

3. 契約方法、品名及び数量

(1) 契約方法

下記の品名ごとの単価契約とする。（複数単価契約）

(2) 品名及び数量

品名は下記のア～エとし、数量については予定数量とする。なお、予定数量の増減があった場合でも、単価の変更は行わないものとする。

ア	消防吏員用立体型ストレッチ活動服上衣（厚手）	18着
イ	消防吏員用立体型ストレッチ活動ズボン（厚手）	30本
ウ	消防吏員用立体型ストレッチ活動服上衣（薄手）	9着
エ	消防吏員用立体型ストレッチ活動ズボン（薄手）	18本

4. 納期 令和7年3月31日（月）まで

5. 形式

(1) 上衣

台衿付きレギュラーカラー、前立て比翼付ファスナー、両胸雨蓋付きアウトポケット、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、右胸階級台マジック付き、背ヨーク切り替え、裾シャツ型、立体縫製

(2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット、両大腿部カーゴポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付、左右後片玉縁ポケット（左釦止め）、裾シングル始末

6. 薄手主材料

使用表生地材料

ア 素 材 : 薄手：日本毛織 難燃ストレッチトロピカル FD780
イ 混紡率 : メタ系アラミド 55% 難燃レーヨン 29%
再生ポリエステル 14% ポリウレタン 2%
導電性繊維混入
ウ 色 相 : C/＃ 紺（指定色）

薄手使用副生地材料

ア 素 材 : 薄手：東レ 難燃トロピカル 7772
イ 混紡率 : モダクリル難燃繊維 50% 難燃レーヨン 20%
再生ポリエステル 20% ナイロン 10%
導電性繊維混入
ウ 色 相 : C/＃ オレンジ（指定色）

厚手主材料

使用表生地材料

ア 素 材 : 厚手：日本毛織 難燃ツイル FD790
イ 混紡率 : メタ系アラミド 55% 難燃レーヨン 29%
再生ポリエステル 14% ポロウレタン 2%
導電性繊維混入
ウ 色 相 : C/＃ 紺（指定色）

厚手使用副生地材料

ア 素 材 : 厚手：東レ 難燃ツイル 7628
イ 混紡率 : モダクリル難燃繊維 50% 難燃レーヨン 20%
再生ポリエステル 20% ナイロン 10%
導電性繊維混入
ウ 色 相 : C/＃ オレンジ（指定色）

7. 縫製条件

ア. 針 数

3 c m間で地縫い及び飾り縫いは1 2針以上、オーバーロックは8針以上とする。

イ. 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小門止めとする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

オ. デザイン

立体構造のものとする。

カ. サイズ

体形に合わせてスリム又は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

キ. 生地

生地は主生地、配色共に指定の生地を使用する事。

8. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

衿には芯を入れ、表衿端に12mm幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかける。ステッチ糸は表裏に同系色でかける。台衿は表裏を縫い合わせ、台衿で上衿を挟み地縫いし表よりステッチで押さえる。

イ. 前立て

左上前見返しと身頃見返し端にファスナーを合わせ、左上前端より6mm幅ステッチをかけ、更にファスナー付けのダブルステッチを下までかける。下前端は見返しとの間にファスナーを挟み前端にコバステッチで下まで押さえる。ファスナーはムシ見せとする。前立てのファスナー横にマジックテープを3ヶ所取り付ける。左上前見返し側にマジックテープ（オス）、右下前にマジックテープ（メス）を付ける。

ウ. 胸ヨーク

左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。

エ. 肩章

表裏を縫い合わせ先三角形型釦止め、肩先付け位置幅50mm、長さ150mmとし、周囲には6mmステッチをかける。肩先側は袖付け根に挟み、袖側より40mm入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は穴かがりの釦止めとする。

オ. 胸ポケット・雨蓋

雨蓋は左右の胸ヨーク切り替え線に挟み付ける。長さ150mm、周囲にステッチをかける。裏面・長さの中心にマジックテープ25mm×30mmを付ける。左雨蓋の前中心側に約30mmのペン刺し口を設ける。

ポケットは左右の胸ヨーク切り替え位置より 15mm 下にアウトポケット口幅 145mm、中心の深さ 160mm にコバステッチで周囲を付ける。ポケットの中心に、インダーツを付ける。ポケット口中心にマジックテープ 25mm×30mm を付ける。

カ．右胸台座

右胸切り替え位置より 15mm 上、フラップの長さの中心に 25mm 幅×長さ 40mm のマジックテープ（メス）を取り付ける。

キ．背ヨーク

1 枚仕立てストレートヨークとし配色生地を使用する。後部背切り替え、前肩は肩章付け辺り位置で切り替える。切り替え線のヨーク側に 6mm 幅のステッチをかける。袖側にも 6mm 幅のステッチをかける。大きさは中心で約 15cm（サイズにより変動）とする。背ヨーク中央に、別途指示する文字・書体・サイズ・色で上段に「名張消防」、下段に「MIE NABARI FIRE DEPARTMENT」とプリントする。

ク．脇身頃

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三つ折り始末をし、コバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。ベンチレーションホールの下端は二つ折りでオーバーロック始末し、6mm 幅ステッチをかける。ベンチレーションホールは袖下布を上を脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側に 6mm 幅のステッチをかける。

ケ．袖

2 枚袖のカフス幅 60mm 付きとする。袖口に 2 本タックを取り、長さ約 160mm のファスナーを設ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

コ．後身頃

後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へ 6mm 幅のステッチをかける。

サ．裾

シャツ型とし、三つ折り始末とし 5mm 幅ステッチをかける。

シ．片布・品質表示

左胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。

ス．衿吊り・サイズ表示

衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

セ．ペン差し

左袖に 2 本入りのペン差しを縫い付ける。

ソ．個人名札台座

左下前身頃雨蓋付中央上部に、85 mm×40 mm のメスマジック台を付ける。

タ．アクセントカラー

衿表（トリミング）、衿台表、肩章裏・背ヨーク部に指定の生地を使用する。

(2) 下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さ 160mm とし、口の上下端に門止めをする。口にはコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ. 後

左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間(中心寄り)にベルト付け下より裾まで切り替え、脇側の方へ 6mm 幅ステッチをかける。後身を切り替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切り替え下身頃側へ 6mm 幅ステッチをかける。

オ. 後ポケット

左右後に口幅 10mm、口の長さ 145mm の片玉縁ポケットを各 1 個付ける(玉縁作りミシン可)。ポケット周囲はコバステッチをかけ、口の両端は門止めをする。ポケット向こう布(表地)とし、袋布とはぎ合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。左後ろポケットのみ穴かがりボタン止めとする。

カ. カーゴポケット

両大腿部横に左右マチ付の上辺 210mm、長さ 240mm のアウトポケットを付ける。ポケット口はファスナー開き 170mm の突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかけ、ファスナーには取手をつける。

キ. 腰帯

マーベルト付きとし、前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

ク. ベルトループ

ベルト通し幅 60mm、長さ 20mm のものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後 2 カ所、合計 8 本付ける。ループ幅の両端はステッチをかける。

ケ. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

コ. 裾

折り返しは 3 cm 以上とし、オーバーロックかけミシンたたきとする。

サ. 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm 幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ．内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

ス．サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

セ．片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

ソ．靴づれ

巾 2 cm、長さ 18 cmを付ける。

9. 寸法

メーカー固有のサイズ表に基づくものとするが、採寸の状況により規格外サイズについても製作することとし、それに係る費用も同一単価とすること。

10. その他

この仕様書に定めのない事項については、双方協議の上決定するものとする。

11. 絵図面



